

2020年物理学会年次大会（春季）領域10のメール審議記事録

新型コロナウイルスの流行に伴い、2020年物理学会年次大会（春季）の開催は中止となった。2020年3月18日に予定されていた領域10インフォーマルミーティングの開催もできなくなった。関連議題を審議するため、領域10メールリングリストを利用してメール審議に変更した。

2020年3月26日、領域10代表

承認事項：

1、次期領域副代表について

次期領域副代表（2020年4月～2021年3月）として、李哲虎氏（産業技術総合研究所）を推薦することとした。

2、次々期領域運営委員について

次々期領域運営委員として、下記の候補者を推薦することとした。

誘電体：石井 悠衣氏（大阪府立大学），任期：2020年10月～2021年9月

格子欠陥：近藤創介氏（東北大金研），任期：2020年10月～2021年9月

X線・粒子線：土田 秀次氏（京都大学），任期：2020年10月～2022年4月

フォノン：栗原 綾佑氏（東大物性研），任期：2020年10月～2021年9月

備考：近藤創介氏は会員ではないが、これから入会する。委員になる際に会員であれば運営委員として物理学会への推薦に問題は無いことを物理学会事務局に確認した。

3、2020年年次大会学生優秀発表賞の審査について

物理学会の方針に基づき、領域10各分科は学生優秀発表賞の審査を行った。誘電体分科及び格子欠陥分科から合計2件の申請があった。各分科審査結果は、採択することとした。領域10運営委員による審査においても、採択することとした。

記（申請者氏名等）：

1、加藤 盛也、広島大学、修士2年、誘電体分科

2、日山太智、関西学院大理工、修士1年、格子欠陥分科

報告事項

1、学生優秀発表賞規則の改正について

領域10学生優秀発表賞の申請条件等が修正された。(1)発表回数を2回にする。筆頭者として、過去発表1回と受賞時口頭発表1回とする。(2)2年間に1回しか受賞できない制限をかける。(3)審査はこれまでの方法で行う。(4)修正規則は2020年秋季大会から施行する。それに伴い、規則が改正・承認されたとの報告があった。

2、領域10：正副代表・運営委員・連絡委員について

2020年度の正副代表・運営委員・連絡委員に関する紹介があった。

◇ メール審議期間：2020年3月26日～3月29日

◇ メール審議記事録作成：連絡委員符、作成日：2020年3月30日